



平成29年8月1日

第80号

お.お.お.ま 議会だより

題字の紹介

芋の皮の紫色、芋の中身の黄色、芋のツルの緑色で表してあります。
大津町在住の21歳の女性に描いて頂きました。



6月定例会

特集記事

休日議会傍聴アンケート、
ジュニアリーダー夢議会……16～17

定例会総括……………2
学生サポートチームが新体制に……………6
町政を問う・一般質問……………7～15

大津北小 田植えの風景 6月23日（金）

平成29年度 第3回定例会議

会期6日間 6月6日～6月12日

一般質問を土・日に行い47人に傍聴していただきました。

初日に、大津町税条例の一部改正など5件の専決処分が報告され質疑後、全員賛成で可決しました。その後、各補正予算などの議案6件と陳情1件を各委員会に付託し、現地調査を行い、審議の結果、原案通り可決しました。その他、2件の議員発議を可決、また、追加議案として、一般会計補正予算と人事案件を14件同意可決しました。一般質問は9人が行いました。



Pick Up

町のホームページが新しくスマートフォン対応になります。

スマートフォンからのアクセスに対応する事により災害時の情報発信に万全の体制を構築するとともに、観光情報の発信などにホームページが効果的に活用されます。

ホームページのリニューアルについて、こんな質疑がありました（要旨）

- Q 業務の中で情報通信（ＩＴ）技術の活用が増えている。今後はＩＴに詳しい人材が必要なのではないか。
- A 大きな自治体では専門的な職員がいるようだ。町の規模では難しいが人材を育成することは必要だ。
- Q 住民が自分の住む町のホームページに愛着を持てるように、デザインなどを公募できないか。
- A 住民のかかわり方や、役場との双方向のやりとりなど、今後、ホームページの内容を検討する。
- Q リニューアルするのはいつ頃か。ワークショップなどで住民の意見を聞くことは考えているのか。
- A 29年度内完成させる。住民のかかわり方は検討する。

議員発議 1 号

ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書を提出します。

提案理由

ギャンブル等依存症による自己破産、家庭崩壊、犯罪などの深刻な問題があったにもかかわらず、国はその実態を十分に把握して来なかった。国は、ギャンブル等依存症の実態把握を進め、ギャンブル等依存症対策基本法の制定などの抜本的強化に取り組むべきである。

議員発議 2 号

熊本地震被災者の生活・住宅再建に関する意見書を提出します。

提案理由

熊本地震から1年が経過したが、被災者は現在も仮設住宅や借り上げ住宅、あるいは雨漏りの修理も出来ない自宅で生活している。再建するにもお金がなく、被災者だけの努力では限界もあり、再建は進んでいないのが現状である。そこで支援金の増額と新たな補助を設けるべきである。

討論をチェック

このような理由で意見書の提出に賛成・反対しました（要旨）

ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書について

反対 荒木 俊彦 議員
意見書にある「特定複合施設区域の整備推進に関する法律」とは、私は「カジノ解禁推進法」だと思っている。ギャンブル依存症が増えるから心配だと言うのであれば、カジノ・博打を公認する法律そのものに反対・廃止の声を上げるべきである。

賛成 永田 和彦 議員
ギャンブルは自己責任であるものだが、苦しんでいる人がいるのであるのならギャンブル依存症を未然に防ぐ対策を推進することは必要である。カジノは、観光産業に大きな影響があるもので賛否は人それぞれにある。

熊本地震被災者の生活・住宅再建に関する意見書について

反対 豊瀬 和久 議員
個別に実情が違う、何をいくらにしたいという予算の裏づけと具体性が無い。地震直後ならともかく、被害地域の実情や被害の大きさに応じて対応が進んできている中で、パフォーマンスをするための意見書は提出するべきではない。

賛成 荒木 俊彦 議員
私の地元では35戸解体されたが、半分が建て替えできるかどうか心配だ。現在の被災者生活再建支援金は、住宅が全壊で建て直した場合、最高300万円、とても足りない。被災者の生活再建のために制度の改正充実が必要だ。

平成29年 6 月 第 3 回大津町議会定例会 議決一覧

議案	議員名	桐原 則雄	府内 隆博	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	手嶋 靖隆	坂本 典光	大塚 龍一郎	源川 貞夫	本田 省生	佐藤 真二	豊瀬 和久	金田 英樹	山本 富二夫	山部 良二	三宮 美香	賛成 (○)	反対 (●)
平成29年度一般会計補正予算		—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	13	2
熊本地震被害者の住宅再建に関する陳情書		—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	14	1
ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書		—	○	●	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	●	●	9	6
熊本地震被災者の生活・住宅再建に関する意見書		—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	14	1

全ての議案名と議案審議の内容については、議事録をご覧ください（大津町ホームページにも掲載されます）

（議案抜粋）

採択

陳情第1号「熊本地震被害者の住宅再建に関する陳情書」

陳情の趣旨 1、被災者生活再建支援制度の増額を国に働きかけてください。

2、一部損壊・半壊以上の住宅再建の支援策を強めてください。

提出者 菊池郡大津町陣内

熊本県建築労働組合菊鹿支部大津分会 松尾功誠

固定資産評価委員が決まりました。

町長の指揮を受けて固定資産を適正に評価し、
且つ、町長が行う価格の決定を補助します。

●木村 欣也 氏（引水）

固定資産評価審査委員会委員が決まりました。

町が課税する固定資産税の評価額に対して、
異議や不満がある納税者からの申し出を受けて、
評価の適正を審査する機関。

●二田水 久雄 氏（美咲野）

人権擁護委員が決まりました。

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、
人権相談を受けたり人権の考えを広める活動
をしています。

●津留 武芳 氏（杉水）
●大北 ムツ子 氏（吹田）
●江原 よね子 氏（大津）

農業委員会委員が決まりました。

農業委員会は、農地法に基づく売買・貸借の
許可、農地転用案件への意見具申、遊休農地
の調査・指導などを中心に農地に関する事務
を執行する行政委員会として設置されていま
す。

●木村 茂樹 氏（引水）
●池田 一実 氏（灰塚）
●坂本 盛幸 氏（引水）
●西本 晶 氏（大林）
●永田 哲也 氏（矢護川）
●永田 典治 氏（陣内）
●吉良 登美雄 氏（真木）
●古澤 享 氏（杉水）
●江藤 梅雄 氏（岩坂）
●古庄 素磨子 氏（外牧）
●古庄 弘子 氏（大津）
●古庄 久美子 氏（平川）

常任委員会レポート

総務

一般会計補正予算

総務部総合政策課

質問 「マチイロ」という、スマートフォン向けの行政情報アプリがあるが、町として導入する考えはないか。

回答 このアプリについて確認したところ、導入に際し費用がかからず、菊池市や合志市などの近隣自治体でも導入されている。「広報紙」などの行政情報を、住民に見ていただく機会が増える可能性がある。導入済みの自治体等に確認しながら、前向きに検討したい。

質問 新庁舎建設検討委員会のメンバー構成は、どうなっているのか。

回答 学識経験者として熊本大学教授が一名、各分野からの推薦委員として区長会、民生児童委員、社会福祉協議会、消防団、女性の会、JA大津中央支所、商工会、観光協会、

文教厚生

一般会計補正予算

住民福祉部環境保全課

企業連絡協議会、PTA連絡協議会の一〇名、公募委員として三名、合計十四名で構成し、委員長は、熊大教授となっている。

質問 震災等の関係もあり、断層や地盤に精通した委員はいるか。また、安全性の面からも地盤調査は重要と考えるが。

回答 地質学の専門家はいるが、建築分野では熊大工学部の教授がいる。地盤は建築の基礎となるので、関連分野の知識は有していると思う。今後、基本計画と併行して、地盤調査を実施する。

総務部総務課

質問 駅前交番に係る費用が計上されているが、費用は町が負担するのか。又錦野駐在所跡地を地元で利用を希望しているが、その後の経過はどうか。

回答 下水道受益者負担金だけは町が負担する。

（左上へ）

経済建設

一般会計補正予算

農業委員会

質問 担い手がおらず、相続登記が行われないうまま継続性を失い荒地になつていく耕作放棄地が全国に広がっているが町ではどのように掌握しているか。

回答 本町でも未相続農地はある。指摘のとおり把握は難しい状況である。

経済部農政課

質問 総合交流ターミナル（岩戸の里温泉）につ

町道の路線認定について



新設町道

質問 立野ダム建設に伴う、吹田団地の北側の町道（猪郷谷）が良くなること、不法投棄などの心配もでてくるが、その点は大丈夫か。

回答 不法投棄・水の処理・ミルクロード付近の渋滞など懸念される点については、対応していく。

質問 吹田団地付近の道路整備などは考えられているのか。

回答 今回の整備に関連して、住民の利便性なども考えなければならぬと思っている。



岩戸の里温泉

（左上へ）

跡地は地元で見守り隊等の拠点にできないか相談があり、警察に伝えているが、具体的な動きはない。



大阪駅南口前に新しくできた交番

総務部財政課

質問 備品購入の内訳を問う。また、先進安全車の導入はあるか。

回答 軽自動車を買った購入予定。購入されてから約十八年経過している保育園と幼稚園の公用車を更新する。先進安全車の導入を検討する。

総務部税務課

質問 熊本地震で広範囲に地殻変動が観測されているが、大津町では東方向にずれていると聞くがどうか。

回答 布田川断層の南側では西方向、北側では東方向にずれている。別方向にずれているわけではない。

なく、全体的に動いているのでそれほど課税面積は変わらないと思われる。

質問 住民に課税上の不利益はないのか。

回答 公差の範囲内であれば不利益は生じない。登記事務において、不利益にならないように座標を修正するものとする。

総務部人権推進課

質問 男女共同参画推進事業について、今までの事業はやってきたのか。

回答 平成二十九年度新規事業で、育児休業等で復職を希望するママさん向けのセミナーである。すぐに実践出来るビジネスセミナーやスキルを身に付け、カウンセリングを行いつつ就業支援する内容で、又女性の自立、活躍とスキルアップを推進する取り組みである。



現地調査の様子



「癒しの里」研修センター

中。元々の計画からかなり縮小しており、都市再生整備計画事業全体の今後についてきちんとした形で説明したい。

教育部子育て支援課

質問 整備中の認定子ども園の受け入れ体制はどうなるか。また、町全体の受け入れ能力はどうか。



整備中の幼稚園

回答 6月現在の入所待ちが56人、待機児童として44人。新しい認定子ども

も園で保育枠60人を受け入れる予定。0歳から2歳は30人弱受け入れ予定。今年度開園した保育園も20人程度枠を広げる予定。そうすると待機児童についてはだいぶ解消され、と考える。

大津町介護保険特別会計補正予算

住民福祉部福祉課

質問 今後の介護保険の見直しはどうか。

回答 地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法の一部を改正する法律が6月2日に交付された。高所得者には3割の利用者負担を求めるよう改正され、平成30年8月から実施される。第2号被保険者の保険料は医療保険者が支払う介護納付金に総報酬割が導入され、高所得者は負担額が増える。今年8月分から4年かけて段階的に実施される。積極的に国が市町村の負担を減らすようなものはないが、介護予防に努めて介護度の維持改善率が高かった市町村には財政支援をすることも改正に含まれている。

いて、地元との相談、調整はどうなっているのか。

回答 周辺地域の町民への説明会を開催したいと考えており、日程の調整中である。

経済部商業観光課

質問 陽の原キャンプ場の活用をどうするのか。

ミーティングルームで午後3時から、開催され沢山の意見を出し合いました。

町施設・設備について
水があるところに人が集まる。中心部に足湯・水車等を作って欲しい。
行政への要望
他分野の研修・勉強会等を紹介して欲しい。
ふるさと納税について
ふるさと納税返礼品がJAの4品目だったが今はどのようになるか。



回答 キャンプ場としては利用しないので廃止の方向で検討を行っている。

質問 施設の長寿命化工事における契約について、一般競争入札は進んでいるか。

回答 処理場の大規模な工事については、日本下水道事業団に委託して、一般競争入札により業者が決定され施工される。

経済建設委員会と大津町商工会との懇談会

日時 4月13日
出席者 議会 7名
商工会 13名
役場 5名

その他意見
大津駅南口について、1年を通して人が集まる「店」があれば目的地になる。魅力あるものは可能性がある。
(今後も懇談会を開催して行く確認した)

特集

尚綱大学生によるレポート 9

尚綱大学文化言語学部S.L.C

『「大津町議会だより」学生サポートチーム』

新体制で頑張ります！

平成29年度に入り、尚綱大学文化言語学部S.L.Cの『大津町議会だより』学生サポートチームのメンバーが変わり、新体制で取り組むことになりました。そこで今号はメンバー紹介と今後の抱負を熱く語らせていただきますと思います。※①好きなこと、②勉強していること、③政治に対する思い、④議会だより編集にあたって



尚綱大学二年
直塚 茉優

- ① ファッション
- ② 中国語、留学準備中
- ③ 堅苦しい、難しいイメージが先行してしまいましたが、私たちの生活に直結するので、遠ざけず、積極的に学ぶ姿勢を身につけたいと思います。
- ④ 自分たちも含めて、政治に興味を持てるような工夫を考えていきたいと思っています。



尚綱大学二年
立石 梨紗

- ① ドライブ
- ② 芥川作品の考察
- ③ 大地震を経験した熊本は特に地方自治体に求められることが更に多くなっています。財政、教育、環境などあらゆる面での地方の取り組みを知りたいと思うようになりました。
- ④ 編集を通じて、議員の皆さんがどのような役割を果たされているのかを知り、政治に関心を持てるように学びたいと思います。



尚綱大学二年
中島 摩南

- ① 映画鑑賞
- ② 中国語、韓国語
- ③ 高校で学んですべの十代は投票に興味があっても、二十代になり次第に興



尚綱大学一年
大山紗也加

味が薄れていっているような気がします。どのようにすれば投票につながるのか考えてみたいと思います。

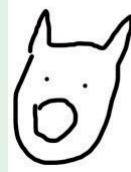
③ 学生の視点で地方政治、議会、選挙等について分かりやすく、読みやすい記事を執筆したいと思います。

- ① 音楽、レモンティ
- ② 熊本や中国、韓国について勉強中
- ③ 若者の政治無関心が問題視されていますが、投票が「面倒」というイメージが定着しているように思います。若者目線でどうすれば良いか考えてみたいと思っています。
- ④ 国政はニュース等で情報があっても、市町村の政治については実はよく分からない方が多いと思いますので、議会だよりを通じて発信できればと思います。



尚綱大学一年
川上沙央莉

- ① 読書、映画鑑賞
- ② マイナンバーのサイバー対策
- ③ 政治にあまり興味がありませんでしたが、地震以降復興関係のイベント等



尚綱大学一年
白木 里奈

地方自治体が活発に動いているように感じますので、そこから考えてみたいのです。

④ 政治に関心を持つために、新聞、ニュースに触れ、思っていることを文章にするようにし、記事執筆につなげていきたいと思っています。

- ① 樺坂46、ムーミン
- ② 中国、台湾について勉強中
- ③ 政治は正直分かりませんが、十八歳初めての選挙の際立候補者の演説を聞く機会がありました。投票するためには、候補者の演説をしっかりと聞く情報を集めることが重要だと思います。
- ④ 正直文章を書くことが苦手です。しかしこんな機会はめったに無いことですので、毎号大津町の皆様に学生らしいフレッシュな記事を提供できるように頑張ります！

以上、この6名で主に担当させていただきます。政治や地方自治等については素人同然ですが、素人目線で素朴な疑問をぶつけることで、分かりやすい記事作成につなげていければと思っています。

町の胃がん検診の受診率は低い水準だ。バリウム検査には抵抗感がある

胃がんの原因であるピロリ菌検査を定期健診の検査項目に追加すべき

町長／菊池広域で連携して協議していく

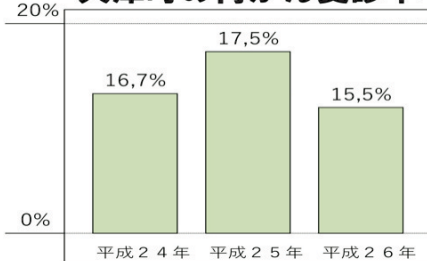


とよ せ かつ ひさ
瀬 和久議員

町政を問う

一般質問
(9 議員)

大津町の胃がん受診率



町民の胃がんによる死亡者は、10年間で65人と全体の1割弱を占めている。胃がん検診の受診率は、17%程度を推移している低い状態である。全国的にはピロリ菌検査に取り組む自治体が増えてきているのも事実だ。

家人町長

のではないかと。希望する人にはピロリ菌検査を受けられるようにして、町民の命を守るべきだ。

熊本地震から1年以上が経過し、家や道路などは少しずつではあるが、

住民が楽しく健康づくりに取り組める健康マイレージを始めるべきだ

町長／元気大津づくり「水水」の普及啓発に努めたい

住民の健康づくりは重要課題であり、早くから各種健診、食と運動の教室などを再開させてきた。また、町が実施している住民に対する健康推進活動事業を活用する事で、住民の健康増進が進められるように普及啓発に努めたい。

家人町長



復旧が進みつつある。これからは被災者の方々の心の復興への取り組みが大切だ。仮設住宅での生活を長く送ることで体を動かす機会が減少している事が考えられる。そして、そのことによる被災者の方々の健康が心配される。被災者の心と体の健康状態は目に見えにくい。その人たちにどう支援の手を差し伸べていくのかが何よりも大切な取り組みではないか。

就学援助のランドセル代を増額するとともに来春の新一年生から入学前に支給すべき

教育長／支給額を増額し、来春からは入学前に支給する

文科省は、新入学児童学用品費の単価を従来の約倍額にするとともに、支給対象者にこれまでの児童生徒から新たに就学予定者を加えた。町も支給額を増額するとともに、入学前に支給

新入学児童学用品費が変わります

援助の種類	援助費			支給の時期
	平成28年度まで	小学校	中学校	
ランドセル等新入学児童生徒学用品費(1年生のみ)		20,470円	23,550円	7月中
	今年度より	40,600円	47,400円	来春の新一年生より3月中

小・中学校入学時に準備するランドセルや制服などの実際にかかる費用に比べ、支給額が充分ではないことから増額された。支給額は本年度から国と同額で支給する。来春からは就学予定者を支給対象者に含めて入学前に支給する。

齋藤教育長

できるような予算の措置、システムの変更、要綱の改正など、速やかに、準備を進めていくべきだ。

山村広場のリニューアル化

町長／トイレの水洗化を検討する



坂本 典光議員

一部は完成しているが将来的には運動公園からJR瀬田駅まで道路の整備を考えている。その途中にある山村広場駐車場は今、災害復興住宅の候補地としてあがっており、地元の皆さんと協議中である。トイレについては水洗化を検討したい。施設整備については、町全体の生涯スポーツ構想の中で検討していきたい。

家人町長

当時の「広報おづ」によれば、「山村広場は平成3年に菊阿中学校の西側に完成した。総事業費約1億2500万円をかけて建設された。広さは1・3ヘクタール、公式ソフトボール場、ゲートボール場、テニスコート、休憩所、トイレなどを備えている。」と記されている。ここはスボ森からも近い。多くの人が利用できるように再整備が必要ではないか。

- ①トイレの水洗化
- ②テニスコートの増設



山村広場

町営墓地の可能性

町長／計画してない

大津町内には112カ所の民営の墓地がある。今回の地震で大きな被害

家人町長

今、世間では墓地のことが話題になっている。都会では墓地の値段が高く、海に散骨するケースが増えているとか、墓を管理する人がいなくなっただけに「墓じまい」が普通に行われるようになったとテレビのドキュメンタリー番組は伝えている。墓地、霊園を造るためには都道府県知事の許可が必要である。個人が墓標を建てるためには、その一角を永代供養料の名目で借りることになる。

- ①町内の墓地の現状
- ②町営墓地の可能性を問う。

を受けた。特に「つつじ霊園」は北側の山が崩れて、墓地全体が土砂で覆われ、墓石が押し流されてしまった。痛々しい状況である。個人の墓標は国、県の復旧支援の対象外である。町内112カ所の墓地のうちのほとんどが昔からある各集落の民営墓地である。

「大津霊園」「つつじ霊園」は開発墓地であり、この販売価格は1区画（5㎡）32万円ほどである。

その他に広域連合無縁仏納骨堂がある。

ここでは死亡時に身よりのない人の遺骨を安置している。

今後、墓のない一人暮らしの高齢者の方が死亡された時にはこの無縁仏納骨堂を利用することになるかもしれない。

「大津霊園」では50区画ほど空きがあり、さらに「つつじ霊園」は造成中である。

現時点では町営墓地の計画はない。



つつじ霊園



大津霊園

その他の質問
・台湾の小学校との交流
・南阿蘇鉄道の復旧



なが た かず ひこ
永田 和彦議員

ミサイル飛来は想定外か

町長／住民の安全、安心のためにしっかりとした体制を日ごろから整えていきたい。

日本全土が北朝鮮のミサイルが届く距離にあり、数分間で首都をも狙える。また、最近では「S」等によるテロ事件も世界では起きている。そういう事態が日本では起きないとは限らない。

有事の際に、国や県が対処してくれるというのはいま。地方自治体として何ができるのか整理整頓し、有益なる情報を町民の方々に流さなければならぬ。

日本国内においてもミサイル飛来避難訓練が行われていて、秋田県で行われた避難訓練に海外のメディアが多く取材に訪れた理由は「日本はもう標的になっている」と言わなければならぬ。それでも想定外なのか。

家入町長

想定内である。町民の生命、身体及び財産を保護する責務があることから大津町国民保護計画書を策定し、その計画において平素からの備えや予防、武力攻撃事態等への対処法について規定した。

我が国に直接危機が及ぶ可能性がある場合には、瞬時に「アラート」により情報伝達され国の対策が講じられるが、まずは「自分の身は自分自ら守り、安全を確保する」ということが大事である。

今回の熊本震災においても言えることだが、有事の際の初動体制のあり方が、そのあとの支援体制に大きく影響すると認識しており常に危機管理意識を持ち、正確な情報収集に努め、情報を的確かつ迅速に住民の皆さんに伝えることが最も大事であると考えている。

国、県、自衛隊をはじめ、消防関係機関とも充分連携し、情報の収集に努めるとともに、住民の安全、安心のためにしっかりとした体制を日ごろから整えて行きたい。

小中学校の環境整備が不完全である

教育長／子どもたちの日常が見えるような工夫を重ねていきたい。

未成年の痛ましい事件があつたことを絶たない！

学校での人間関係問題やいじめが起因し、悩みに悩んだあげく、自分で

自ら命を絶つという悲しい事件が続いているが、事前対応策などの改善策は不完全で、国の自殺予防やいじめ対策などの効果は上がらず机上の空論である。

特に学校の管理体制は重要で、生徒と先生の視点のずれのある状況で学校運営がなされているのではないかと？

生徒がSOSを発してこないか、みんなが仲良く遊んでいるだろうか、異変を見かけたら、フォローしてあげられるのかと、営利企業ならば結果を出すためのハードの改善を行う。

齋藤教育長

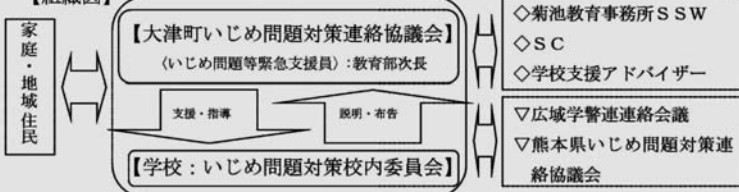
未成年者の自殺の原因に学校問題が多いのは認識している。

改善策として学校施設の構造、職員室や教室の配置や形状については、児童生徒の教育や学校生活に及ぼす影響も大きいと思えるが財政的な面もあり検討はできていない。例えば、教科担任は教室から職員室に帰るわけ

だが、大体一つの動線と同じ道を通って帰る。そこで、あえて多くの動線を持つて、ランダムな動線を創るアイデアで死角をなくし、命を守るという観点から少しでも子どもたちの日常が見えるような工夫を重ねて行きたい。

大津町いじめ問題対策連絡協議会

【組織図】





宅地の被害を直さないと住宅の復旧もすすまない

宅地復旧の負担の軽減を

町長／実現できるよう努力する



荒木 俊彦 議員

① 宅地被害復旧支援につ
家入町長

熊本地震からの復旧・復興の目安は「可能な限り住み慣れたところで住まいの再建を果たす」ことが中心にあると思う。なかでも住宅の修理と宅地復旧の費用がダブルにのしかかってくる人たちの負担軽減が必要。

① 宅地復旧補助事業で国の公共事業（原則自己負担なし）と県の復興基金補助の状況はどうか。

② 県の復興基金による補助金の高上げは検討されているか。

現在、公共事業あるいは県の復興基金補助に該当するか調査中である。

② 復興基金による補助は、工事額から50万円を差し引き、残りの2/3が補助されるが、被害力所がまだ確定していない。

熊本市に基金の追加を要望しながら、負担軽減の実現に努力したい。

あけぼの団地にエレベータ必要

町長／現在のリニューアル工事を優先

あけぼの団地は、築後40年近く経過、高齢者や障がいがあったりする人にとって、高層階の上がり降りはつらい。

リニューアル計画と合わせて、エレベータ設置が必要と考える。

翔陽高校北交差点に信号を

町長／県に強く要望していく

信号機設置要望は、県の公安委員会に受け付けている。信号機設置要望の状況と、優先順位の対処はどうしているのか。

三吉原北出口線、翔陽高校・室小北側の交差点は、非常に危険であり、

早急な対処が必要ではないか。

家入町長
県の信号機予算は年間15基ほどで、その半分が熊本政令市にまわるよう

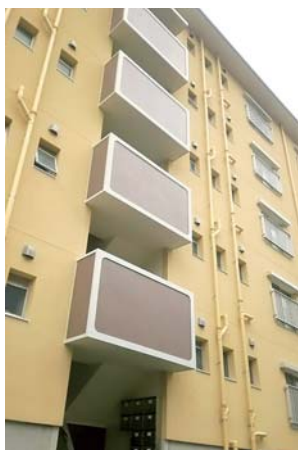
な状況であり、合志、菊陽、大津など都市化が進むところに信号機の量が少ない状況である。

県に対して「地元で一部負担してもいいから」と強く要望している。



信号も横断歩道もない翔陽高校北側交差点

家入町長
現在あけぼの団地の4階5階に入居されている65才以上の方は22人。エレベータ設置の必要性は理解しているが、アンケート調査でのエレベータ要望は430件中



毎日、5階までの上り降りは本当にきつい

41戸の9・5%であり、当面は一番要望の多かった水回りなどのリニューアル工事を優先したい。

障がいを持つ方々が、大津町で自立した生活を送るための基盤としての、就労支援は重要である、平成25年度から障害者優先調達推進法が法制化さ

障がい者就労支援の推進

町長／大津町は人権の町として障がい者福祉に一生懸命取り組む



やま べ りょう じ
山部 良二議員



町は人権の町として一生懸命取り組んでいる。震災により、町内にある就労支援事業所では、直接的な被害はないものの、地震直後において、売り上げや請負が減少したが、現在は、少しずつ回復傾向にある。今後は充実できるような企業等と相談し進める。

家入町長

れた。このような中、熊本地震の影響で支援施設等の生産活動や請負業務量は減少傾向にあり、県でも工賃の低下が懸念される。町でも請負業務量や工賃の低下等があるのか。

障害者優先調達推進法

国や市町村などが障害者のかかわる製品やサービスを優先的に購入するように義務付けた法律。

障害者の生活支援を目的に、優先的に障害者就労施設などからの物品やサービスの調達を進めるための必要な措置を定めている。

市町村などの長は、毎年度、就労施設からの物品などの調達方針を作成し、実績を公表することが義務付けられた。

工賃向上計画

熊本県は、県内の就労継続支援B型事業所などの工賃水準の向上のために「熊本県工賃向上3か年計画」を策定している。

期間は平成27年度～29年度の3か年。①「魅力的な商品・サービスの開発と提供」②「販路の開拓と拡大」③「経営の改善」に重点的に取り組んでいる。具体的な活動としては、「工賃向上アドバイザーの派遣」や「福祉と農業や商業の連携」、「共同受発注の推進」などが挙げられる。

就労継続支援B型事業の取り組みは

町長／障がい者の工賃向上の取り組みを推進していく

就労継続支援B型事業に関して、月々の平均工賃はいくらか。

県と町それぞれの平均を問う。また、県の取り組みとして工賃向上計画があるが、この計画には、障がい者の工賃アップはもとより、就労機会の拡大、自立支援等の側面もあり支援は欠かせないが本町の今後の取り組みを問う。

また、工賃アップのために企業等に情報発信等の取り組みはあるのか。

本郷福祉部長

B型事業所の月額平均工賃は、平成27年度で、県の平均が1万3千866円で、本町は9千6676円である。

現時点、工賃が県平均を下回っている。今後も障がい者優先調達等による、工賃向上の取り組みを進めていく。

を進めていく。

次に現在の工賃向上3ヶ年計画を作成し、工賃水準の向上に取り組んでいる。

また現在の障がい者基本計画でも、雇用・就労支援を推進し、今年度策定する計画においても、これからの障害のある方の就労支援については取り組みを進めていく。

最後に情報発信等の取り組みについて、各事業所で独自に取り組みがあり、施設間の情報共有や会社への訪問活動、インターネットを活用した情報収集や発信をしている。本町も企業連絡協議会の中で情報提供等を行っている。



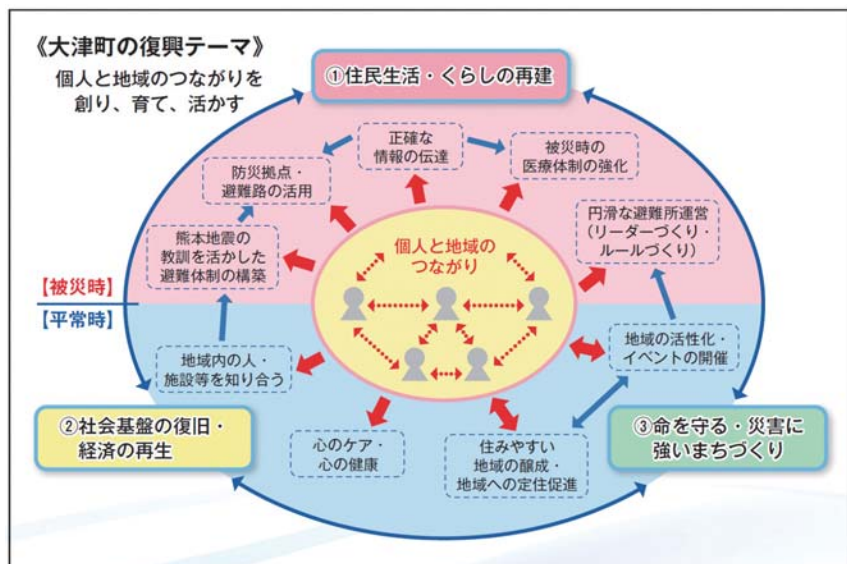
その他の質問
障がい者差別解消法について問う。
教育におけるICTの活用について。

さとう しんじ
佐藤 真二議員

町長／地元の負担も頑張してほしい

震災被害の復旧に對して国や県に支援を要請するというのは当然だが、いち早く被災者の生活支援を成し遂げるためには町独自の判断による補助も必要ではないか。

地域公民館の復旧事業補助金の補助率は90%。



大津町復旧・復興計画のテーマのイメージ

町の復旧・復興計画のテーマは「個人と地域のつながりをつくり、育て生かす」だ。地域公民館はその中核となる施設であり、その施設の復旧を急ぐためにも負担軽減が必要だ。

家入町長 基本的には今の9割の補助で、地元の負担も頑張つてほしい。

地域集会所等の復旧は5月時点で被災施設42カ所中8施設が完了している。今後、国県などで行なふ利な事業があれば、被害の大きかった地域から、なるべく早く取り組みたい。

教育長／将来的に検討可能な施設
町長／防災センターの下層で検討

文化ホールのキャパシティは500弱。しかし催しの際に席が埋まることは少ない。1000〜1500人程度の小規模多目的ホールをつくり文化的な活動を活性化することができないか。

今は難いだろうが現在検討中の振興総合計画等に織り込み、今後にか一つ夢のあるもの、希望を持てるものの一つとして提案したい。

小規模多目的ホールは町民の音楽や文化活動など、また企業・団体の講演会などにも利用でき、様々な面からの住民の交流促進や町の活性化に繋がるものと思う。将来的に整備する施設としては検討可能な施設ではないかと思っている。

町長／地域と一体になって取り組む

家入町長

そういう施設が必要になつてきているのは確か。今、新庁舎の横に防災センターを検討しており、そこに多目的ホールを併設するようなことも考えている。

また、民間の持つ多目的ホールを活用できるようにもお願ひしている。

自主防災組織の設立や充実の取り組みは進んでいるか。町の自主防災組織の活動率が100%という報道があるが本当なのか。

また避難所運営マニュアルも今回の経験を踏まえ、住民や地域の役割が明確化される方向だと思いが、官民で支え合う仕組みがなければ実現は困難。自助と共助を地域に任せきってはいけない。

地域もがんばる、行政もそのサポートをがんばるという体制で地域に呼ぶ掛けることが必要。

家入町長 平成25年度以降に新たに34組織、地震以降6組織が新たに組織を立ち上げた。さらに活性化を図っていくように今後指導をしていきたい。

避難所運営マニュアルも、今回見えて来た多くの課題を踏まえ、災害弱者への対応なども見直す町だけの計画でなく、地域の皆さんと一体となつて、その地域の防災について取り組みたい。



かなだ ひでき
金田 英樹議員

人材育成と人事マネジメントの在り方

町長／若手が意見・行動をできるような職場にしたい

高齢化、財政悪化、熊本地震の発災など、厳しさを増す本町の運営を前線で担うのは職員ひとりひとりである。現在のバ

- ラバラの業務研修・業務管理ではなく、「人材育成・マネジメント計画」として、職員育成と運用の仕組みを体系的に整備する必要がある。以上を踏まえ、次の提案をする。
- ① 問題解決力向上に向けた研修の導入
 - ② 適切な業務目標設定と進捗管理の実施
 - ③ 職員提案制度の導入
 - ④ 新たな文化・考えを吹き込む外部人材の登用

家人町長

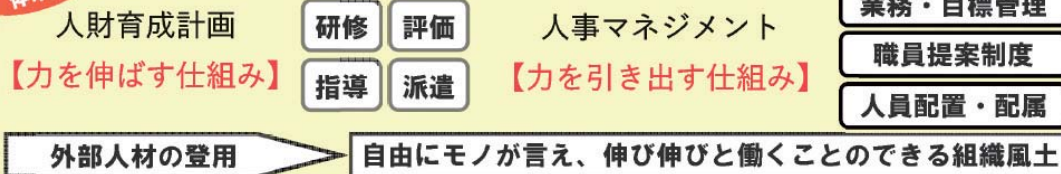
人材育成関連等についてはしっかりと取り組んでいきたい。

杉水総務部長

- ① 現在はチーム別の知識習得研修が中心。問題解決能力を高めるための研修も実施していきたい。
- ② 現在の能力評価に加えて、業績評価も実施できるように検討を進めている。組織目標と個人目標の連動も図れるよう体系的に進めていきたい。
- ③ 若手職員の意見をより多く取り入れることができるような取り組みも、進めていきたい。

④ 役場内部にとっぷり浸かっていると、良いところ、悪いところ含めて見えないこともある。今後研究していきたい。

体系図



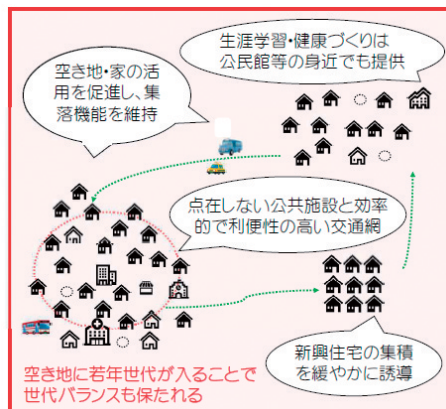
町の人口は、震災後も増加しているが、過疎化や少子化、高齢化が進んでいる集落も多い。さらに、人口増加区域においても、空き地・空き家が虫食い状に増加しており、それが集落機能を低下させ、新たな「空き」を生み出す悪循環を招きつつある（スポンジ化）。また、一方では人口増加による居住地の不規則な拡散も進んでいる。

こうした生活集落の「低密化」と「拡散」は「行政サービス提供」や「集落内での共助」を難しくする等の課題に繋がる。効率的な都市機能によって日々の暮らしを維持・向上させるための「計画」と「仕組み」が不可欠である。以上を踏まえ、次の提案をする。

① 空き地・空き家バンク

地域の「スポンジ化」への対応と新たな都市計画

町長／町全体の振興・総合的な空き家対策に取り組む



家人町長

① 少子化高齢化で集落の

- （台帳）の創設
- ② 立地適正化計画による居住地と都市区域の緩やかな誘導
 - ③ 必要な施設が点在せず、各集落と都市区域が公共交通によって結ばれた「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク（小さな都市）」の実現

大田黒土木部長

問題は益々大きくなる。総合的な空き家対策に取り組んでいきたい。

② 2年後完成に向けて、都市計画マスタープランを策定中のため、その後に取り組みたい。

③ 立地適正化計画を策定していくなかで、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」は考えたい。

熊本地震から1年が過ぎ、住宅再建を考えておられますが、住宅再建業者の不足、資材の高騰で、場所次第では住宅地の石垣の修理、基礎工事等の追加工事があり、住宅建設に二の足を踏む状態だ。

被災者の自立支援についてはどう考えているのか

町長／別に大津町の災害減免条例がある。



やまもと ふじお 議員
山本富二夫議員



中心後退後地

地震で住宅地に建設されるため、中心線から中心後退を2メートルされるが、その後はアスファルト舗装がされず、砂利道となったままだ。

家入町長の答弁のとおり、特例として、大津町税災害減免条例とは別に条例を定め、隣接市町村との均等をはかりつつ、町民税等の減免等を行っている。

杉水総務部長



被災住宅地

アクセス道路の新設について問う

町長／吹田団地の住民の方々と十分相談していきたい。

ダム工事で発生する土砂等の運搬が近いうちに始まると思われる。それに伴い、ミルクロードから猪郷谷土捨て場への林道拡張で町道にされるが、吹田団地はその町道の土捨て場の南側の位置にある。今回、土捨て場設置に

大田黒土木部長
分筆して町に寄附していただく舗装することも可能だ。今後も丁寧な説明を行っていききたいと思う。



新設道路とアクセス道路

伴い、ますますミルクロードの停滞が起きると思うが、それを踏まえて、猪郷谷土捨て場へのもう1本のアクセス道路を考えてはどうか。

家入町長
吹田団地北側の広場に大きな防災ダムをつくる交渉を行っている。その内には地区役員と相談して、あそこを防災ダムにすれば吹田団地入口の西側の交換も相談していきたい。

大田黒土木部長

吹田団地北側の道は林道となっているが、今後、町道として整備し、埋め立てが進めば、現在よりも格段に利用しやすくなる。

立野ダムの建設は大丈夫か

町長／常に連携をとり、状況の報告関連等を伺っている。



立野ダム仮排水路

昨年の熊本地震と6月の豪雨災害で立野溪谷の両岸が大規模崩壊し、約20億掛けた仮排水路が使用不能である。現在も大雨ごとに白川の水が泥水となり流れることがあり、北向山の崩



立野ダム計画図面

落が今も続いている。今の治水ダム計画で、堤防の高さが、90メートルで5メートル四方の3つの排水路がつまったら、一番最初に被害を受けるのは私たち白川沿岸の住民だ。

家入町長
当初計画の中で安心・安全なダムを今つくっている状況である。立野ダム関連については、立野ダムから住民へ説明依頼も可能。

大田黒土木部長
立野ダム建設に係る技術委員会において、立野ダム建設に支障となる技術的な課題はないとの結論が出された報告を受けており、現地での説明も受けたところだ。また、立野ダムの説明会を要望します。



三宮 美香議員

防災マップの改定・避難所の標示をする予定はないのか

町長／十分検討していきたい。



大津町防災マップ

大津町で配布されている防災マップは平成22年3月、7年前の作成になる。平成27年4月から老朽化のため休館中で、先日取り壊しが決まった大津温泉岩戸の里は避難所としてまだ入ったままであるなど、現状を反映していない部分もある。昨年の熊本地震でも避難所をあちこち探して不安だったという声も聞かれた。今年度、新しく改訂版を作る予定はないのか。

また、学校により避難所の標識や学校の案内看板がないところがある。災害はいつ・どこで起こるかわからない。土地勘のない人でもすぐに避難所がわかるように標示すべきではないか。

大津町で配布されている防災マップは平成22年3月、7年前の作成になる。平成27年4月から老朽化のため休館中で、先日取り壊しが決まった大津温泉岩戸の里は避難所としてまだ入ったままであるなど、現状を反映していない部分もある。昨年の熊本地震でも避難所をあちこち探して不安だったという声も聞かれた。今年度、新しく改訂版を作る予定はないのか。



学校案内看板

家入町長
防災マップ・避難所については十分検討していきたい。標識や看板については、地域においては地域活動支援事業補助金を活用して、公共施設関連については、町の責任でしっかりとつくってきたい。

杉水総務部長

熊本地震の検証を踏まえた上で、地震にも十分対応した抜本的な計画の見直しをすべく、現在、作業を進めている。防災マップは暫定版として作成をした上で、今年度中には各世帯へ配布したい。

学校施設の増築・プレハブ設置時の点検確認はどうなっているのか

教育長／町の検査を実施している。引き渡しの際の検査体制の構築を図りたい。

教室不足に伴い美咲野小学校に2階建てのプレハブ教室が設置され、4月から使用している。4月から今までに、雨漏りが続き教室入り口ドアの取り付けがおかしかったり、テレビ台の設置が逆で使えなかったり、教室の壁がプレハブのむき出しのままで、掲示物が貼れない状態だったり、教室後ろのロッカーが通常より狭いなど、普段の学校の教室では考えられない不具合が起きている。設置後の点検確認はどうされていたのか。今後も児童生徒数増加に伴いプレハブを設置する学校が出てくると予想される。今回のような事例が起きないように、今後どのように対応していくのか。



美咲野小プレハブ教室

きのままで、掲示物が貼れない状態だったり、教室後ろのロッカーが通常より狭いなど、普段の学校の教室では考えられない不具合が起きている。設置後の点検確認はどうされていたのか。今後も児童生徒数増加に伴いプレハブを設置する学校が出てくると予想される。今回のような事例が起きないように、今後どのように対応していくのか。

齋藤教育長

確認された不具合については、その都度、受注者に指示を行いながら対応をしている。また、同じような事例が起きないように施工中の現地確認を強化し、引き渡し物件における不具合の発生を未然に防ぐと同時に、引き渡しの際の検査体制の構築を図りたい。

市原教育部長
このプレハブ教室については、リース物件ということで、完成後に町の検査を実施して引き渡しを受けた。検査の際に確認できた不具合箇所については指示を行い、改修等を行った。また、引き渡し後についても、検査時確認できなかった部分や契約内容に基づき、正常な使用に支障をきたした場合、町と受注者で現地を確認し、受注者の負担により速やかに修繕または補強を行うよう対応している。

今後は、完成したプレハブの引き渡しの検査の際に、目視あるいは動作等による確認も含め、より詳細な確認検査をし、完成後に確認できない分についても、施工中に何度も足を運びながら現地を確認し、受注者や学校と協議をする機会を増やすことで、不具合の発生を未然に防ぎたい。

その他の質問
子育て支援事業について

休日議会傍聴者アンケート

頂いたご意見は真摯に受け止め、今後も改善を図っていきます

傍聴しての感想

満足

■議会の雰囲気をよく知ることができました。また、今のような問題があり、どのような策で対応しているかなど知れて、とても勉強になりました。(10代 女性)

■大津町をもっとよくするためにはどうしたらいいかなど、沢山の議員の方々がこうして一生懸命、私達が見えない所で考えてくださっていることを知れました。(10代 女性)

■答えにまだ納得しなかったら、何度も質問をしているところ。どのようにして行っているのか分かった。(10代 女性)

■実際の雰囲気や行っている様子が分かった。(10代 男性)

■初めて議会が行われているところを実際に見ることができたから。■大津町で議会が行われていることは知っていたが、どのような雰囲気で、どのように答弁を行っている、どんな質問があるのかを実際に感じることができたため。(10代 女性)

■傍聴席と議場が近くて傍聴しやすい。(10代 男性)

■何故クールビズではないのか、部屋が寒すぎる。■「よそ者」の発言が「ムラ的」

な人の言葉である(総務部長)、「よそ者」ではなく、「新しい血」を入れるとかの考え方が必要である。■職員の人、議員さんは本当に大津町が好きですか？好きならばもっともっと多くの好きな人を集めましょう！私は大津町が好きです！■「期日」のない仕事は仕事ではない。期日を定めて進めることが大切。(40代 男性)

まあ満足

■議会の雰囲気はすごく静かでしたが、自分が今度質問に行くと思うと、とても緊張します。でも、今回議会を見学でき、何となく想像できました。(10代 女性)

■色々な人の意見をしっかりと考えてくださっていて今の課題が少し分かったから。でも今回出た意見が本当に検討されていくのか、実行されていくのか、不安が残った。(10代 女性)

■私自身気になっていた信号機の設置について、具体的な方針が打ち出されていた点。(20代 女性)

■「障がい者就労」という関心がある話題があったから。(20代 男性)

■雰囲気が分かりました。議員さんと町等のやり取りも見ることができて満足でした。(20代 男性)

■防災の議題について、質問者、議員の実情把握の上での質問。回答では、公的な立

場、表面的考察の傾向あり。実務的な回答を期待する。(80代 男性)

■休日議会開催は有り難いです。行政を身近に感じることができ、大津町の現状と問題が分かります。普段の生活の中で町民が感じていることと同じ目線で感じてもらうことが分かりました。

議員さんがどれだけ地域を回り、情報を得て、問題を感じてくれているのかが分かりました。今後も地域住民のために励んでください。(50代 女性)

■PDCAサイクルとかICTとか略語で質問を議員さんがしているが日本語で分かりやすく、質問、回答してもらいたい。(70代 男性)

■私自身は非常に楽しむことができました。非常に我儘な要望かもしれませんが、大津町の現状が分かる一般質問関係の補助資料があればいいのかなと思いました。(20代 男性)

■日曜議会が行われたので見に来やすかったです。ただ、次は夜間も検討してほしいです。(40代 女性)

どちらとも言えない

■話の内容が難しかった。(10代 男性)

■行政の答弁が具体性を欠く。(60代 男性)

黄色網掛けは、8月5日(土)に実施される「中高生議会」に向けた勉強のため、傍聴に訪れた町内の中学生および高校生から寄せられた感想です。

■初の傍聴でまだ分からないことが沢山あったから。■質問に回答するだけかと思っていたが、通告者は質問だけでなく様々な情報から根拠を見出し、今後の話もしていた。(10代 男性)

■今日は議員さんの私語があり残念でした。議員さんと行政の会話が少しずれている感じがしました。(20代 男性)

やや不満

■実際の現場での確かな証明があるか、地震のことは町として各家庭の細かいところまで、手が届いていないような気がする。また、各議員も積極的に目配りを願います。(70代 男性)

不満

■幼児連れでは傍聴できない旨、事後聞かされ困惑。1階入り口に案内もなく入口でも案内無し。■入口にて記入するテーブルの高さが低く、かなり書きづらかった(高齢者傍聴者が多い状況から)■スリッパ利用は議員のみで、傍聴者は靴下のままに驚き。なぜ?という思いを持った。■一部議員の話聞く姿勢に驚き、一般常識からも人の話を聞く態度とは思えない。恥ずかしい。(40代 女性)

ジュニアリーダー夢議会(中高生模擬議会)の事前学習会を取材しました!

8月5日(土)に、大津町文化ホールで実施される「ジュニアリーダー夢議会」の取材に行ってきました。

当日は、町内の中学校、高校から選出された10人の生徒達が、議会傍聴や複数の学習会を重ねた集大成となるまちづくりに関する提案を、本物の議会さながらに町長・教育長へ行います!



生徒たちの真剣な眼差しが印象的でした



8/5
(土)

場所：午後5時～7時

場所：町文化ホール

ぜひ会場へ
お越しください!

取材当日は、大まかな質問内容を事前に町長や教育長に提出する「一般質問通告書」の作成日でした。学習会では、2人1組で「総務」「経済」「建設」「福祉」「教育」の5テーマに分かれて、町職員や、有志で参加した議員へ質問もしながら、時には頭を抱えつつ、各々の提案内容を考えていました。

中高生議員さんたちからは「難しい!」、「町が今どういう取組をしているのか、知っているようで知らなかった」、などの声も聞かれましたが、中高生ならではの創意工夫に富んだ提案から本職の議員顔負けの本格的な提案まで、町長や教育長がどんな答弁をするのか今からワクワクするような内容ばかりでした。

町に必要なことを考えるなかで、町の課題や魅力ももっともっと見えてくる。夢議会当日は、子供から大人まで多くの人に御来場いただき、町民一丸で町の未来を描ける場所になればと思います。

当日の様子

大津町議会災害時対応 基本計画を策定（業務継続計画）

*計画の必要性と目的

熊本地震直後から議会の会場確保も含めて、議会開催ができず、6月議会を8月に延期し、会期も1日に短縮して対応した。

また、被害状況や今後の復旧、復興対応について、町長の専決処分に対する追認や全員協議会での説明など情報共有及び議会機能が十分に発揮していたのかなどの多くの問題や課題が発生した。

こうした反省を踏まえ、今回、大規模災害等が発生した場合に、議会機能を維持し、迅速な意思決定と多様な町民ニーズを反映して活動する大津町議会災害時対応基本計画（業務継続計画）を策定し迅速に災害に対応する。

議会災害時対応基本計画の行動体系

災害発生！ 議会・議員の行動は！

1. 初動期（発生後～3日）

災害対策会議設置

安否確認、情報収集災害対策会議に参集するまでは、一町民として地域活動などに従事。

2. 中期（3日～7日）

災害情報の収集・把握・共有

災害対策会議の指示に基づき参集し、議員活動に専念。

3. 後期（7日～1か月）

議会機能の早期復旧

本会議・委員会を開催し、復旧・復興予算などを審議。

4. 1か月後

平常時の議会組織体制へ

復興計画などについて、議会として審議。

1. 対象とする災害種類

自然災害、大規模事故、感染症、武力等攻撃など。

2. 災害時の体制

①参集基準と体制

町災害対策本部を設置した場合又は、議長が召集を必要と決定した場合は、速やかに議会災害対策会議を設置し対応する。

3. 災害時の行動指針

①議会としての役割

様々な大規模災害発生の際、非常時でも、議会機能を維持する体制を整える。

災害の復旧、復興時に、町民の代表機関として責務と役割を明確に果たす。

②議員としての役割

災害時も議員として役割を担うが、被災した町民の救援や被害の復旧のために地域活動等に従事する役割も同時に担う。

4. 災害時の町執行機関の動きと議会の関係

災害発生直後は、町執行機関は混

大津町議会災害時対応基本計画の考え方

議会の役割

災害時に対応する体制の構築

復旧・復興時の住民代表機関としての責務

議員の役割

議会の構成員

地域の構成員

計画の体系

目的

大方針

基本的方向性

議会の基本的機能の維持

1. 議員・事務局職員の安全確保

2. 審議を行う環境の確保、整備

3. 的確な情報の収集と共有

4. 執行機関との適切な連携

安否確認
自己・家族の安全確保

施設・設備の代替の準備
備蓄品の準備

参集基準・行動体系の明確化

住民の声の反映
議員個人の情報・要請行動は執行機関へ配慮

議会災害対策
会議の設置

乱状態にあることが予想され、議員の情報収集及び要請行動については執行機関の初動体制や応急対応への配慮をして対応する。

一方、議会での審議や議決機能を適正に行うため、正確な情報を早期に収集しチェックを行い、議会としての情報を一本化する。同時に町執行機関との役割を踏まえ、災害情報の共有等を主体とし、連携体制を整えて迅速に災害への対応や復旧復興を加速させる。

新庁舎建設特別委員会行政視察報告

期日

平成29年5月12日(金)

テーマ

山鹿市、玉名市の庁舎建設について調査研究

視察場所

山鹿市、玉名市

参加委員

津田桂伸(委員長)、
荒木俊彦(副委員長)、
桐原則雄、坂本典光、
源川貞夫、府内隆博、
佐藤真二

調査概要

山鹿市役所の概要

地下1階、地上5階の
免震構造で、事業費が約
32億円。基本構想についての市民
からの意見◆十分な駐車スペース
の確保、◆バリアフリー
への対応、◆環境面への
配慮(省エネ)など。

庁舎の特徴

◆わかりやすいサイン
の設置、◆市民利用の多
い窓口を低層階に集約、
◆市民のニーズや業務の
変化に対応可能なオープ

ンフロアの整備、◆ロ

ビーなどの公共空間を確
保した市民交流スペース
の整備など。

省エネや再生可能エネル

ギーの活用

◆LED電灯の採用、

◆雨水・井水の利用(ト
イレの洗浄水、屋外散水
栓など)、◆太陽光発電
の設置など。

防災施設の整備

◆災害対策本部室を新
設、◆約72時間運転可能
な非常用発電設備の設置◆約7日間の給水容量を
持つ受水槽と緊急遮断弁
の設置、汚水貯留槽の設
置など。

問題点

◆喫煙場所設置の問題。

◆障害者用の点字プロッ
クが、総合窓口までしか
なく、各担当フロアま
で設置が必要。◆耐震か
ら免震に設計変更したこ
とにより、2・3億円の事業費が増額となった。
◆カウンターが高いため、
住民と立ったままの対応

となっている点など。

玉名市役所の概要

地上4階、事業費が約
39億6千万円。

建設にあたって苦労され

た点

◆用地交渉が難しかつ
たこと。◆事業費を抑え
るため、誰でもが使用で
きる場所がないこと。ま
た、会議室が少ない点な
ど。

バリアフリーの取

り組み

◆庁舎の入り口
に段差がないこと。◆議会傍聴席近く
までエレベーター
でいけることなど
の対応。

省エネや再生可能

エネルギーの活用

LED、高断熱
ガラス、自然採光、
地熱利用による空
調負荷低減が採用。
太陽光発電は設置
していない。

玉名市役所



山鹿市役所

・視察終えて・

大津町の庁舎建設の現状

熊本地震による人手不
足などの影響で事業費の
高騰が考えられ、シンプ
ルな構造や維持管理費を
含めたコスト削減や、事
業を進める上でのスケ
ジュール管理が重要だと
思われる。

熊本地震における町議会の対応⑤

町と定期的に意見・情報交換を行い、協力して事態の改善を図っています。

■平成29年6月5日(月) 全員協議会

- ①大津町復旧・復興計画の進捗状況について
- ②財政状況について
- ③グループ補助金の復興事業計画認定申請の状況

■平成29年6月22日(木) 全員協議会

- ①新庁舎建設基本構想案について



シリーズ 大津町の宝

大津町災害ボランティアセンター



2016/4/22 開設当初（スポーツの森）



現在も支えてくださっている多数のボランティアの方々



大津町災害ボランティアセンター（大津町社協運営）は、昨年4月22日に開設し、現在では県内で唯一運営中のセンターです。

現在は土曜日のみにボランティアを受け入れており6月も、のべ80人以上の方が活動しています。震災から1年以上が経過した今でも、毎週のように支援活動に来てくださっている方も多く、その中には複数の県外在住の方や、町内に住んで大きな被災をされた方もいらっしゃいます。

ボランティアさんが、口を揃えて仰るのがセンタースタッフの「おもてなし」の温かさ、そして町への愛情です。まだまだ続いている町の復興は町内外多くの方々に支えられています。



2016/6/20 移設（老人福祉センター駐車場）



センターの“愛言葉”

“被災財ば見らんで人ば視る
おったちが何とかしたかとは人たい！”

議会広報編集
特別委員会

委員長
豊瀬 和久

副委員長
金田 英樹

委員
山本富二夫
山部 良二
三宮 美香

発行責任者
議長：桐原 則雄

この議会だよりはリサイクル推進のため再生紙を利用しています。

編集後記

議員2期目も引き続き、議会広報委員を務めることになりました。今期は2期生2人、1期生3人の構成です。

震災復興に向けて様々な動きがあり、予算総額もかつてない規模になっています。「議会だより」に求められる大きな役割は、これらを少しでも分かり易くお伝えしていくことで、「生活者」、「当事者」である住民の皆様へ町の現状や議会の取り組みを知っていただき、多くの御意見やアイデアを賜る「きっかけ」、「材料」を提供することだと考えています。

今号でも傍聴者アンケート、大学生のレポート、中高生議会の取材等を掲載していますが、多くの方々と共に創り上げることで、住民目線の身近で分かりやすい「議会だより」を目指していきます。

（金田）

表紙の紹介

6月23日に大津北小学校の4・5・6年生約40人が、地域の方と保護者の協力のもとで田植えを行いました。これからヒエ取り・力カシ作り・稲刈り・脱穀と作業し秋の収穫祭に調理されて、お世話になった方や地域の皆さんへふるまわれます。楽



＊傍聴に来てはいよ＊

議会はどなたでも自由に傍聴できますので、ぜひお気軽にお越しください！

●日程●

9月5日(火)～15日(金)予定

●会場●

オークスプラザ 2階
ふれあいホール